

# 少年水産教室

1. 教室名  
定置網体験教室

知念村漁民研修センター

2. 実施対象  
知念中学校 2年生11名

## 6. 関係機関

主催：水産試験場普及センター

協力：知念村漁業協同組合

知念村漁協女性部

知念村役場水産課

## 3. 目的

中学生に地元の重要な産業の一つである水産業を体験させることにより、水産業に関する理解を深めさせるとともに児童生徒の健全育成及び後継者育成を図る目的で少年水産教室を開催する。今回は知念中学校の希望で職場体験（インターンシップ）を兼ねて開催する。定置網漁業を通し漁業の厳しさ・楽しさを体験させ、漁獲物の名前（方言名）・量を調べることにより魚に親しんでもらう。

## 7. 内容

### 1) 開校挨拶～漁法説明

瀬底センター長の挨拶後、照喜名漁業士が定置網の図を使って漁法の説明を行った。操業もクレーン付きの船1隻に3名で行っている。

### 2) 定置網体験

全員救命胴衣を着用して照喜名漁業士の船に乗船し、現場へ向かった。5分ほどで現場に到着し、船員が網上げ準備をしている中、生徒たちに照喜名漁業士が現場で定置網の説明と、水揚げの手順について説明を行った。網を絞り始めると生徒たちも揚げた網を押さえるなど、作業を手伝った。網を絞るにつれて魚がはねる様子などが見られ、生徒たちの興奮も高まった。網を絞り始めてから30分ほどで締め終わり、網の反対側を魚が逃げないようにクレーンでつり上げてからタモを使って漁獲を開始した。生徒たちは交代で楽しげにタモを扱いながら、グルクマーやガチュン、タチウオなどを大きい籠に2杯ほど漁獲した。

### 3) 水揚げ～漁獲物選別

20～30分かけて、揚げてきた漁獲物の選別と計量を行い、セリ市場へ並べた。

## 4. 日程

平成14年10月21日

6:30 集合。開校挨拶（普及センター長）。

漁具漁法説明（照喜名氏）

6:45 出港。定置網体験

8:15 帰港。漁獲物選別

8:45 セリ対象魚名前調べ及びセリ値推測

9:00 セリ見学

10:00 漁法勉強会。知念村の漁業。

セリ値答え合わせ

11:30 昼食（女性部作成）

## 5. 開催場所

知念村漁協所属

照喜名智氏（沖縄県指導漁業士）定置網

知念村漁協 荷捌き施設

生徒たちには見たことのない魚もいて、熱心に観察しながら、時に魚の大きさがバラバラになったりして漁業者に注意されながらも選別を行った。その際カマスの歯やグルクマーの口の開き具合・理由などを漁業者から教わっていた。計量を行い、並べる際には手順が分からず適当に並べる子もおり、セリ長から並べ方の意味について説明を受けていた。選別後、使用した漁船の清掃を生徒全員で行った。いやがるかと思いきや、丁寧に船を磨き上げていた。漁獲物の一部（ガーラとグルクマーなど）は婦人部の手により下処理されて、刺身と魚汁に調理された。

#### 4) セリ調査

セリ見学に際し、生徒を3グループに分けて自分たちが定置網で揚げてきた魚と他の漁業者が捕ってきた魚、それぞれ割り当てて、魚の名前と予想セリ落とし価格（kgあたりの値段）を調べさせた。また、セリ開始に合わせて自分たちの予想セリ値と実際のセリを見ながらのセリ落とし価格が合っているかを確認させた。

各グループともお魚下敷きなどを見ながら魚種名を調べていた。照喜名漁業士や仲買のおばさん、普及員の手伝いもあって、何とか名前を調べて値を付けていった。やはりタマン・アカジン・イラブチャーなど知っている魚には高い値を付ける傾向にある。また、自分が獲ってきた魚にも高い値を付けていた。セリ順が自分の調べた列に来ると耳をこらして値段を聞き取ろうとしていたようだが、ほとんど聞き取れずに困惑していた。

#### 5) 漁法勉強会

漁協荷捌きの2階にある漁民研修センターで照喜名漁業士から模型を用いて定置網の漁法説明が行われた。まず最初、なぜ定置網が知念の地先に設置されてい

るのか、魚が中城湾を大きく左回りに回遊していることを説明し、その魚を捕るための漁法が定置網であること、そして漁業権に関わることについても説明を行った。知念村の定置網の歴史は昭和47年に組合自営事業として、沖縄で最初の定置網として設置された。昭和50年に照喜名朝進氏（照喜名智氏のお父さん）のものになった。昔は機械化されておらず、5～6名、多くて10名で人力で引き上げていた。今は機械化され2名での水揚げが可能である。黒板と模型を用いて側張りロープの構造や、網の構造、網替え頻度について、そしてその中に入った魚の動きについて解説した。また定置に入る魚は群れの一部でしかないこと、時期によってはいる魚などを説明を受けた。

その後、知念村役場水産課の島袋朝次氏による村役場の水産への取り組みについて、村内の漁港や養殖業への取り組みなどを説明した。そして瀬底センター長から知念村の養殖業について簡単な説明があった後、生徒一人一人から感想を聞いてみた。みんな定置網を初めて体験することもあり、その構造や捕れる魚の種類にびっくりしているようだった。

最後に漁協の大城盛光セリ長から今日の予想セリ落とし価格の答え合わせを行った。各グループの代表者に発表してもらったが、各グループともかなり高い値段を予想していたが、実際にはかなり安い値段でびっくりしていた。特に定置網で漁獲した魚の安さにはかなり衝撃を受けていた。最後に大城セリ長が総括をし、仲買の販売力・セリのシステム・流通等について解説を行い、学習会を終えた。

#### 6) 昼食

昼食は自分たちの獲ってきた魚で作った刺身と魚汁を食べた。婦人部の協力に

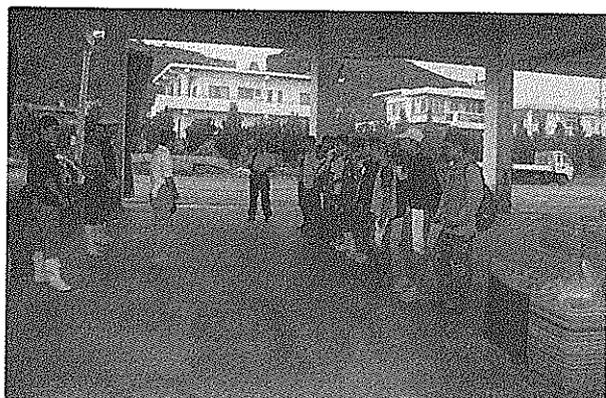
より非常に美味しい魚汁が出来た。

### 7) 閉校挨拶

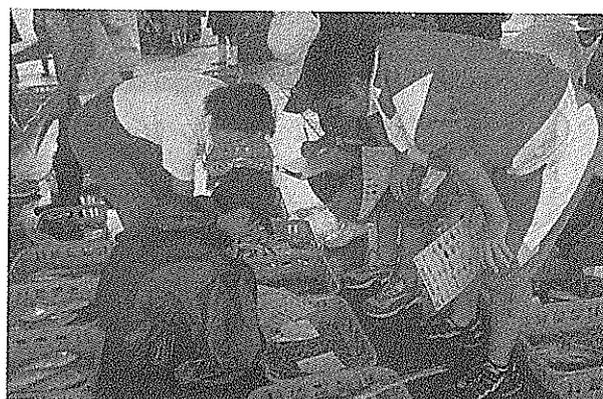
普及センターの與那嶺専技から総合学習の時間について、そして沖縄水産高校のコストマリンコース（沿岸漁業従事者を育てるコース）と琉球大学の海洋自然科学科について紹介をしたあとで、照喜名漁業士と女性部の皆さんにお礼を言って閉校となった。



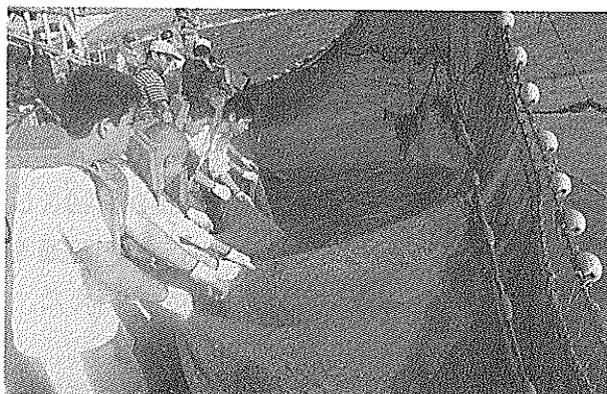
漁獲した魚の選別作業



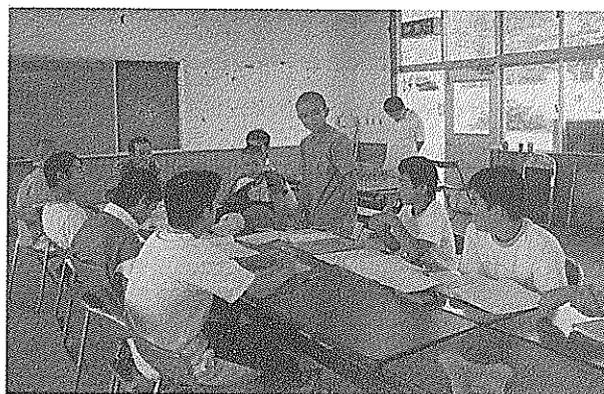
開校挨拶



魚の種類を調べてセリ値を予想する



網を絞って今から漁獲



定置網体験の感想を述べる生徒